

学校通信 学力特集号

向学

北九州市立沖田中学校
校長：瀧上 瑞恵
R元年10月15日

校訓

健康

心身ともに健康であれ

〈学校教育目標〉
～すべての子どもを我が子どものように～
生徒一人ひとりが生き生きと輝き、心身ともに健康で、やさしさと逞しさと自立心を持ち、根気強くがんばる生徒の育成。

〈本年度の重点目標〉
「確かな学力」と「学校規律」の向上

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 英語)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

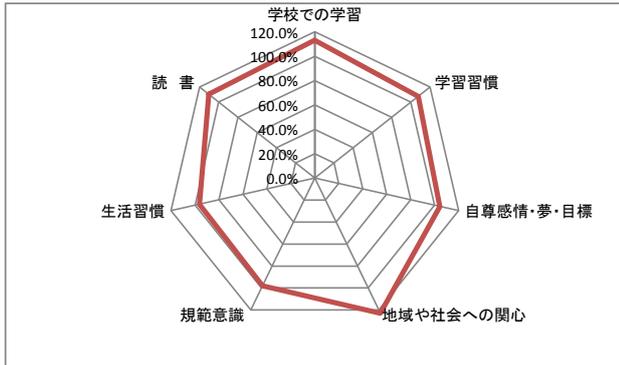
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	・全体的には全国平均正答率を下回っており、「話すこと・聞くこと」は高い数値を示していたが、「書くこと・読むこと」に関しては低い数値だった。特に、記述式の問題を苦手としている傾向がある。	下回っている
数学	・全体的には全国平均正答率を下回っており、「関数」の分野は正答率は高かったが、「数と式」「資料の活用」の正答率が低かった。国語と同様、記述式の問題を苦手としている傾向がある。	下回っている
英語	・全体的には全国平均正答率を下回っており、特に「聞くこと」の領域の問題の正答率が低く、正答率が高かったのは「外国語表現の能力」の問題だった。また、記述式の問題の正答率は全国平均と同程度だが、選択式の問題の正答率が低い傾向にある。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

・「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」などの自尊感情や夢や目標を問う回答で、全国平均を上回った。そして「家の人に学校での出来事を話す」「先生はあなたのよいところを認めてくれる」も全国平均を上回っていることから、家族や先生から認められている安心感や、周囲との関係の良さが伺える。その点から、自尊感情が高まっており、夢や目標に向かって前向きに生活していると考えられる。

・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」が全国平均を大幅に上回っており、学校での学習活動の成果が、生徒達の自信につながり、成長につながっている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・全学級全教科で「めあて」「まとめ」「ふりかえり」の徹底は、今後も継続して行う。

・話し合う活動を通して、思考力・判断力・表現力を育む授業展開はもちろんのこと、考えの根拠を明らかにして、記述・説明する力の育成も図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・朝食を毎日食べる割合は、安定した高い水準を維持しているが、就寝時間と起床時間の質問では全国平均に比べ、生活リズムが安定していない低い値だった。家庭学習の「時間」や「計画を立てて学習する」に関しては全国平均を上回っているため、生活リズムの向上で更に質の高い学習活動ができると考えられる。そのためにも、道徳の授業の充実や、学校通信や保護者懇談会を通して、生徒の生活と学習活動をよりよいものにしていきたい。